

## 「令和5年度いわて新農業人チャレンジファーム第6回研修を開催しました！」

第6回の研修は、令和5年6月9日(金)、10日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、野菜の種まき、農薬の正しい使い方、防虫・防鳥・防獣対策、農業用廃プラスチック処理についての講義を行いました。実習はセルトレイへの種、トマトへの薬剤散布とトマトトン処理、じゃがいもの間引き・追肥・土寄せを行いました。

講義では、裸種子やコーティング種子などの種子の種類や、種子が発芽するための3条件のほか、栽培作物に合わせた、条まき、点まき、セルトレイへの種を学びました。は種時に、土をふるい等にかけてできるだけ細かくすること、覆土と鎮圧を行うことを留意点として学びました。受講生は実際にいろいろな種子を手に取り、興味深く観察していました。

実習ではセルトレイへの土詰めと作業を体

験したあと、トマトハウス内での薬剤散布とトマトトン処理、わき芽かきを行いました。主枝を誤ってかき取ってしまわないように、講師とコミュニケーションを取りながら慎重に作業を行い、作業後には、わき芽と主枝の違いが理解できたようでした。

また、じゃがいもの間引きは、生育の良い芽2～3本残して種いもを持ち上げないように作業を行いました。受講生は名残惜しみながらも、今後の成長を期待して追肥と土寄せの作業も行いました。

なお、間引いた芽の中には、成長して、いもとなるストロンの先端が少し肥大した芽もあり、じゃがいもの成長過程の観察も行うことができました。

第7回の研修は、6月23日(金)、24日(土)に気象と水稻に関する講義、実習ではねぎの定植、えだまめのは種、栽培野菜の管理等を行う予定です。



種子を手に取り観察する受講生



セルトレイへの土詰めの様子



トマトのわき芽かきの様子



じゃがいもの間引きの様子